



ふれあいネットワーク

広川町

# 社協だより

発行 社会福祉法人広川町社会福祉協議会 TEL (0943) 32-3768  
広川町大字新代 2165 番地 1 FAX (0943) 32-5530

## 社協マークの意味

社会福祉および社協の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るいまあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

※携帯のカメラで読みとってください  
広川社協ホームページ QR コード  
QRL → <http://hirokawashakyou.jp>



“もったいない”を  
“ありがとう”に。

食べることに困っている方々へ食べ物を届けたい

ご家庭で買い過ぎてしまった食料品、まだ食べられるにも関わらず、さまざまな理由で廃棄されてしまう食料品、保管されたままの食料品をご提供いただき、地域で食べることに困っている方々へ届ける活動を「**フードバンク**」と言います。

広川町社会福祉協議会では、平成 28 年 4 月からこの活動を事業化し、取り組みを開始いたしました。廃棄食品を減らし、同時に食の確保に困っている方を支援するという、「もったいない」を「**ありがとう**」に変える「食の支援」に、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

事業の詳細は、6 ページに掲載しております。

この「社協だより」は、共同募金の配分金によって作成したものです。

# 平成27年度広川町社会福祉協議会事業報告

私たちが暮らす現代社会では、少子高齢化や地域のつながりの希薄化、価値観の多様化などにより、地域の福祉課題・生活課題が深刻化しています。このような中で、公的サービスだけでは解決できない複合的な課題を抱えている人は少なくなく、より柔軟な福祉サービスの構築や住民相互の支え合いの仕組みづくりなど、多様な課題の解決や予防に向けての取り組みが求められています。

本会では、地域住民一人ひとりの参加と支え合い、地域福祉に関わる人・機関の連携と協働による、だれもが安心して健やかに暮らし続けていける福祉のまちづくりの実現に向けて、民間の行事計画である「広川町地域福祉活動計画」の策定に重点的に取り組みました。

## □地域福祉事業

誰もが安心して暮らすことができる地域社会、「ふくしのまちづくり」を基本理念とし、住民とともに行政等関係機関と連携を図りながら、地域福祉活動の推進、充実に取り組みました。

生活福祉資金貸付事業を柱とした生活困窮に関する相談・支援及び判断能力が不十分な人を住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する日常生活自立支援事業に関する相談・支援はともに増加傾向にあるため、制度や公的な福祉サービスへのつなぎ、専門機関・支援団体との連携態勢の強化に努めるとともに、緊急的な食料支援などに取り組みました。



## □生活支援事業

在宅で介護が必要な人、一人暮らしや認知症等で生活に不安がある人、またその家族からの介護の相談に応じ、内容に応じた福祉サービスや機関へのつなぎ、介護・福祉サービスの申請代行等の支援に取り組みました。また、実態把握訪問を行い、高齢者の生活課題、福祉課題の早期発見・早期対応に取り組みました。

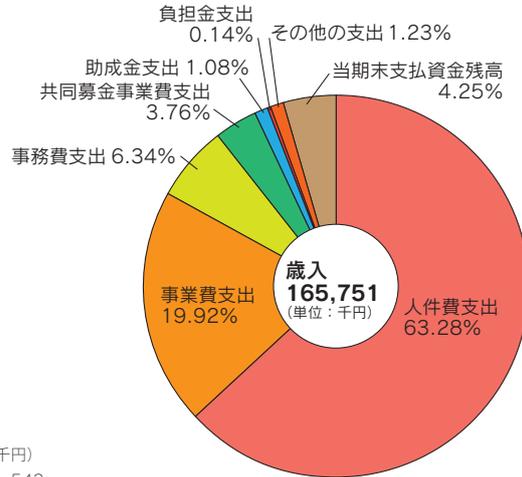
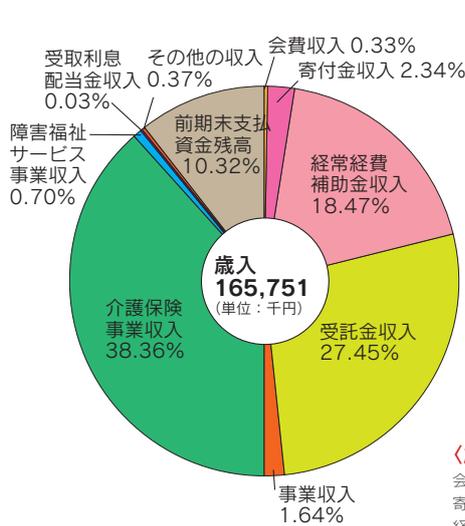
## □在宅福祉サービス事業

在宅福祉サービス事業につきましては、介護保険制度の改正に対応すべく、利用者の家族からのニーズが多い、通所介護事業のサービス提供時間の拡張などを図りながら、より質の高い在宅福祉サービスの提供態勢を構築するとともに、財政的にも安定した事業運営化に努めました。



平成 28 年度におきましても、広川町の更なる福祉の充実・発展のため、多種多様化する地域や住民の福祉ニーズ、その他あらゆる福祉課題、役割を積極的にとらえ専門性を持って対応し、福祉サービスの創造、事業推進に努めてまいります。

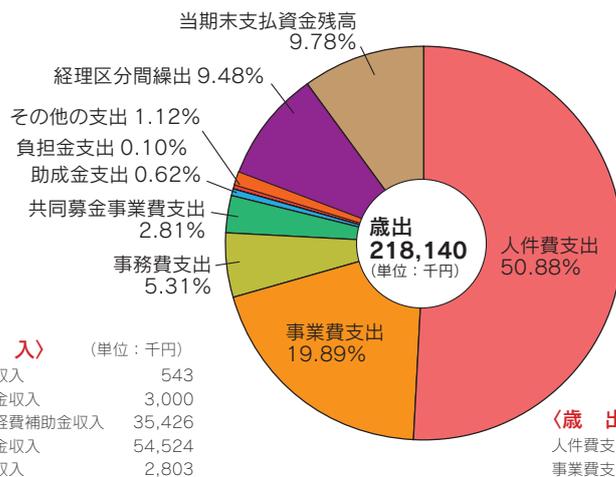
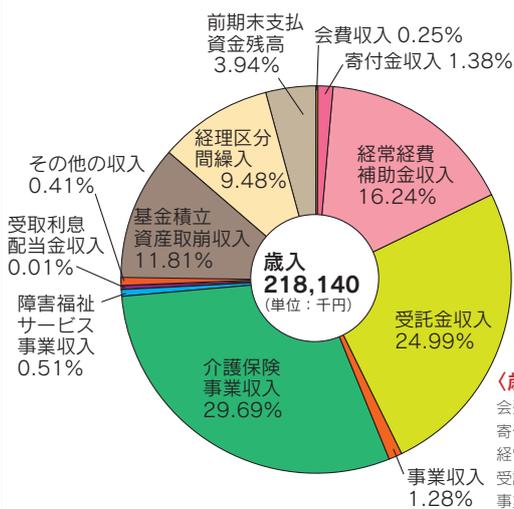
## 平成 27 年度資金収支決算



会費収入	543
寄付金収入	3,876
経常経費補助金収入	30,613
受託金収入	45,501
事業収入	2,716
介護保険事業収入	63,583
障害福祉サービス事業収入	1,164
受取利息配当金収入	45
その他の収入	609
前期末支払資金残高	17,101
合計	165,751

人件費支出	104,884
事業費支出	33,017
事務費支出	10,508
共同募金事業費支出	6,232
助成金支出	1,784
負担金支出	231
その他の支出	2,044
当期末支払資金残高	7,051
合計	165,751

## 平成 28 年度資金収支予算



会費収入	543
寄付金収入	3,000
経常経費補助金収入	35,426
受託金収入	54,524
事業収入	2,803
介護保険事業収入	64,770
障害福祉サービス事業収入	1,105
受取利息配当金収入	30
その他の収入	899
基金積立資産取崩収入	25,769
経理区分間繰入	20,687
前期末支払資金残高	8,584
合計	218,140

人件費支出	110,979
事業費支出	43,388
事務費支出	11,584
共同募金事業費支出	6,131
助成金支出	1,361
負担金支出	226
その他の支出	2,453
経理区分間繰出	20,687
当期末支払資金残高	21,331
合計	218,140

## 『広川町母子寡婦福祉会』からのお知らせ

# ～広川町母子寡婦福祉会に入りませんか？～

広川町母子寡婦福祉会では、さまざまな活動を行っています。春には苺狩り、夏にはバスハイク、冬にはクリスマス会などのイベントを開催しています。

また、入学支援にも取り組んでおり、入学されるお子さんがいらっしゃる会員さんには、御祝金をお贈りしています。

さらに、福岡県母子寡婦福祉連合会による『母子家庭等村田奨学金』という奨学金制度を設けています。(4年制大学に進学される等の条件があり。返済は不要です。)

ひとりで子育てをされている皆さん！

私たちと一緒に話をしたり、楽しい思い出をつくったりしませんか？

当会では、皆さんの入会をお待ちしています！！



広川町母子寡婦福祉会 会長 野田徳江

【問い合わせ先】

広川町社会福祉協議会

☎ 0943-32-3768

## 広川町老人クラブ連合会 老人福祉大会が開催されました

6月3日(金) 広川町老人クラブ連合会主催の第49回老人福祉大会が、広川町武徳館にて開催されました。

会員長寿者・永年勤続会長の表彰、記念講演、アトラクションなどが行われ、たくさんの会員の皆さんで会場はにぎわいました。

記念講演では、「人と人がつながり、支え、支え合う地域づくり」というテーマで、福岡県レクリエーション協会専務理事・学習センター長の佐藤靖典さんから、「老人クラブの会員の皆さんが元気高齢者モデルになりましょう」というお話があり、改めて大会スローガンである「健康・友愛・奉仕」の必要性や、地域や人のつながり、支え・支え合うことの大切さを再認識する機会となりました。



## 第54回福岡県身障者 体育大会が開催されました

5月8日(日) 福岡県身体障害者体育大会が、博多の森競技場と春日クロアパークプラザ・アリーナ棟にて開催されました。

本大会は、選手の体力の維持・増強と、身体障害者に対する認識と理解の高揚を図ることを目的に開催されています。

今年は、広川町から8名の選手が出場され、11名が応援にかけつけました。

選手はそれぞれ、ソフトボール投げ、アキュラシーに出場され、金メダル1個・銀メダル1個・銅メダル1個獲得という素晴らしい成績をおさめられました。



# いきいき元気教室

## の活動をご紹介します♪

### 楽しみの 100 均ツアー



皆さんがお楽しみの『100均ツアー』に行ってきました。梅雨の時期ではありましたが、良い天気にも恵まれお出かけ日和でした。

「普段買い物に行かんけん楽しみにしとった！」とひ孫さんに買う方や「家から頼まれとった」とメモを片手に買う方などそれぞれですが、たくさん買って満足顔でした。

私も皆さんが持って来て下さるお花を切る鋏を買いました。



七夕飾りの折り紙



朝の体操 1・2・3



絵手紙風景



心も体も元気を保ちませんか？  
たくさんしゃべって、たくさん笑って、  
楽しみましょう♡  
参加される方をお待ちしております。

《問い合わせ先》  
社会福祉協議会 0943-32-3768  
広川町役場 0943-32-1113

# デイサービス1日体験のご案内



広川町社会福祉協議会デイサービスでは、1日体験を実施しております。ご興味のある方は、下記までお気軽にご連絡下さい。

★見学も随時受け付けております。

問い合わせ先（通所介護事業所） ☎ 0943-32-7072

## 活動の一風景

みんなでふれあいながら、一緒に笑って過ごしませんか？



コーラス隊による慰問



定期的なリハビリ指導



七夕行事



ジャガイモまんじゅう作り



# 食料支援に、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします

この取り組みは、広川町に居住する生活困窮者等が、緊急的かつ一時的に食料の確保が困難になった場合に、食料品をお渡しすることにより、生活の再建の一助となることを目的に実施しております。

## ご提供いただきたい食料品

- 主食（お米、麺類など）
- 保存食品（缶詰、インスタント食品など）
- のり、お茶漬け、ふりかけ
- お茶、その他飲料品



## ご注意していただきたいこと

- 賞味期限、消費期限が半年以上あるもの
- 常温での保存が可能なもの



ご寄贈いただける場合は、大変お手数をお掛けいたしますが、下記社会福祉協議会の窓口まで、直接、食料品をお持ちくださいますよう よろしくお願ひ申し上げます。

## 【問い合わせ先】

社会福祉法人 広川町社会福祉協議会（総務・地域福祉係）

〒 834-0115 福岡県八女郡広川町新代 2165-1 tel / 0943-32-3768 fax / 0943-32-5530

## ふだんのくらしのしあわせを考える

去る7月14日（木）中広川小学校の4年生を対象に、『車椅子体験』を実施し、車椅子の乗り降りから自走体験、介助体験をしてもらいました。

“初めて車椅子に触れた！”という声が多く、で、「思った通りに進まなかった」「直角に曲がるのがとても難しかった」等、体験して得た気づきを、たくさん教えてくださいました。

社会福祉協議会が進める福祉教育では、「ふくし」を学ぶ中で、日頃見過ごしてしまう普段の暮らしの問題に気づき、自分と自分の周りのより良い生活を考え、自分を見つめる力を育むことを目的として取り組んでいます。実際に福祉用具に触れ、様々な人と出会うことで、みんなの「ふくし」を考える機会になればと思います。



## 元気な地域づくり講座を開催いたしました

高齢化が進む今日、地域でつながりや生きがい・役割をもっていきいきと活動できる場の充実がますます重要となってきました。本講座は、誰もが住み慣れた地域で、元気に、安心して暮らし続けることのできる地域づくりを目的に開催いたしました。

講座1日目・2日目では、健康づくり・生きがいづくりに止まらず、様々な年代の方との交流を促すことができ、また介護予防・認知症予防にも効果的な、レクリエーションゲームや健康レクササイズをご紹介しました。



講座3日目の認知症サポーター養成講座は、誰にでも起こり得る脳の病気『認知症』を正しく知ること、認知症の人やその家族が穏やかに暮らしていけるよう、近くでそっと見守り、そっと手助けする認知症サポーターを更に養成するために、「おもいやりの地域づくり」を目指して実施いたしました。

講座には毎回50名程の参加があり、「今度は地域の集まりでやってみたい!」「みんなにも聞いてほしい」など、参加者から多くの声をいただきました。

# 広川町商工会青年部と協働した 広川町の福祉の増進!!



広川町商工会青年部さんは、平成 21 年度からプルトップ収集による車椅子の寄贈や災害復興支援としての義援金などの福祉活動事業に取り組まれています。

今回、広川町ボランティア活動センターのリサイクル事業として収集したエコキャップとプルトップを、「福祉の増進を実感できる仕組み」として商工会青年部さんに引き受けていただきました。

センターに寄せられたエコキャップ・プルトップは、なんと 44 袋!! これらは、センターに来館された住民の皆さま、広川中学校生徒会、地元企業、ボランティア団体から寄せられた物です。エコキャップとプルトップの一つ一つに思いが込められています。その思いが商工会青年部の思いと一緒に、福祉の増進に役立てられます。



## 熊本地震益城町災害ボランティアセンター運営支援

6 月 23 日～ 27 日の 5 日間、熊本県益城町の災害ボランティアセンターの運営支援をさせて頂きました。熊本地震で倒壊した家屋のがれき処理や、未だ避難所生活を余儀なくされている人を支援するため、県内外から多くのボランティアの皆さんがこのセンターを訪れます。センターは、支援を待つ益城町の住民と災害ボランティアさんをつなぎ、その活動を支援する役割を担っており、地元社協と協力し、県内外から多くの社協職員や支援団体が連携して運営支援にあたっています。

今回の災害支援で、強く心に残った言葉があります。それは、益城町の人がつぶやかれた「地域が壊れてしまった…」という言葉です。災害は家屋や物を破壊するだけではなく、そこにある人の暮らしやつながりまでも奪います。しかし、それをまた復興させる復旧させるのも「人」です。多くの益城町の住民、災害ボランティアの皆さん、復興・復旧を目的に動く全ての人が「暮らし」を取り戻すためにつながっています。今回の災害支援では、社協職員として、一人の地域住民として、忘れてはならない「暮らし」という視点を再認識させられました。益城町の皆さん、災害ボランティアの皆さん、つながった全ての人に「感謝!!」しかありません。(社協スタッフ/江口)



## ボランティア活動保険のご案内

現在ボランティア活動をしている、またはボランティア活動をやってみようかな…とお考えの方。安心して活動していただくために、ボランティア活動保険の加入をお勧めします。

### ■対象となるボランティア活動

日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」で、次の①から③までのいずれかに該当する活動とします。

- ①グループの会則に則り企画、立案された活動であること
- ②社会福祉協議会に届け出た活動であること
- ③社会福祉協議会に委嘱された活動であること



保険料は 300 円～ 650 円  
※内 100 円を助成します

**[問い合わせ先]**  
広川町社会福祉協議会  
☎0943-32-3768

# 〈香典返し寄付へのお礼〉

平成 28 年 2 月 9 日～平成 28 年 7 月 13 日

社会福祉協議会へのご寄付をいただきました。ご芳名を紹介させていただき、ご厚意に深く感謝申し上げますと共に、故人のご冥福を心からお祈り致します。

行政区	親 族	故 人
吉常上	中村 義信様	茂 未様
智 徳	山下 智子様	敬 次様
牟 礼	石橋 義登様	チエノ様
川 瀬	大石久美子様	高 稔様
一 條	中嶋サダ子様	彦 次様
長延下	岡本 功様	小 春様
北新代	吉原 敬子様	重 信様
川 瀬	今山 幸子様	山下俊雄様
高 間	山下すみ子様	喜代次様
馬 場	原田 帛子様	宏 一様
古 賀	原野 久之様	サツエ様
高 間	松岡 真一様	稲員博愛様
	杉本 麻子様	
長延下	原 恵美子様	俊 之様
太 田	大石 義勝様	和 代様
吉常上	田中 嘉文様	恵美子様
吉 里	野田 繁子様	異様
太 原	丸山シツヨ様	勝 教様
一 條	久保田和明様	ミツ子様

行政区	親 族	故 人
当 条	江口 正秀様	喜次郎様
吉常上	姫野 正嗣様	久 子様
鬼ノ淵	荻野 昭義様	キ ヲ様
鬼ノ淵	原野 康義様	ツタエ様
太 田	山崎 大作様	トミエ様
当 条	野田 岩男様	学様
緑ヶ丘	川崎 和子様	堤クニカ様
川 瀬	井浦 直美様	敬一郎様
太 田	一ノ瀬裕子様	中村シメル様
一 條	中嶋ミツエ様	和 義様
長 徳	渡邊 利幸様	登様
古 賀	山本 康之様	裕 茂様
高 間	中村 信義様	マサエ様
川 瀬	山村 剛様	才所マサエ様
鬼ノ淵	荻野 真史様	ヤツエ様
当 条	田中フテコ様	峰 次様
吉常上	高鍋 富江様	國 男様
増 永	田中 景明様	一 美様

## 『介護者カフェ』開催中!

煎れたてのコーヒーでお待ちしています!



介護の合間に、お茶とお菓子とおしゃべりで「ホッ」と一息つきませんか?

介護者同士だからこそ、

『そうそう、人にはわからんもんねえ』とか『来てよかったあ 涙が出た』との声が聞かれます。



### ★今年度 8月以降のスケジュール★

8月 29日(月) 9月 26日(月) 10月 31日(月)  
11月 28日(月) 12月 26日(月) 1月 30日(月)  
2月 27日(月) 3月 27日(月) ※毎月最終月曜

場 所：保健・福祉センターはなやぎの里  
時 間：午後 2 時～ ※相談員も参加します  
参加費：無料

#### 《問い合わせ先》

広川町社会福祉協議会・家族介護者の会「なのはな会」  
TEL:0943-32-3768 FAX:0943-32-5530

## 「はなやぎの里」の施設使用料

施設区分	施設使用料 (1 時間)		冷暖房使用料 (1 時間)
	町内者	町外者	
多目的ホール (3 階)	1,200 円	2,400 円	1,000 円
調理実習室 (2 階)	700 円	1,400 円	600 円
会議室 (2 階和室)	300 円	600 円	200 円
会議室 (2 階洋室)	300 円	600 円	200 円
休憩室 (1 階和室)	1 人 1 回 100 円 (入浴料含む)	1 人 1 回 200 円 (入浴料含む)	

#### ◎問い合わせ先

保健・福祉センター「はなやぎの里」  
☎ 0943-32-3768